

## 教育委員会 2 月定例会 会議録

- 1 開催日時 令和6年 1月 31日 (水) 午後2時から午後2時40分まで
- 2 場 所 教育委員会室
- 3 出席委員 教 育 長 丸 山 陽 一  
同職務代理者 近 藤 守  
委 員 茅 野 理 恵
- 4 説明のために会議に出席した者  
教 育 次 長 藤 澤 勝 彦  
教 育 次 長 勝 野 学  
教育次長副任兼  
学校教育課長 前 島 卓  
教育次長副任兼  
家庭・地域学びの課長 野 池 達 朗  
総 務 課 長 北 島 克 彦  
保健給食課長 山 口 恭 司  
文化財課長 石 坂 陽 子  
学 校 支 援 官 酒 井 好 和  
総務課長補佐 穂 川 さゆり
- 5 書 記 総 務 課  
庶務担当係長 児 島 真 季

丸山教育長が開会を宣した。

#### <教育長あいさつ>

あつという間に2024年も1か月がたち、明日から2月となる。段々と日が長くなってきたが、まだ寒い日が続いている。学校においても、再びインフルエンザの流行の兆しが出てきているので、皆様におかれても、体調管理には十分気を付けていただきたい。

4月にオープン予定の教育支援センターSaSaLANDだが、今月26日から2月3日まで、10回に分け、利用登録に向けた現地見学・説明会を実施している。昨日までに、児童・生徒83人とその保護者の皆様にお越しいただいた。御協力いただいている茅野委員をはじめ、信州大学の皆様に感謝申し上げる。私も29日の現地見学・説明会に顔を出し、リニューアル後、初めて施設を見たが、学校という雰囲気はなく、非常に明るく開放的な空間となっており、見学された保護者の皆様にも好印象を持っていただけたように思う。子どもたちは、跳びはねていたり、緊張からか保護者にくっついていたりと様々な姿が見られ、多様な子どもたち一人一人に寄り添った対応が必要だと改めて感じている。現地説明会后に、質疑応答やアンケートを行っているが、その中で、送迎についての心配や勉強をしたいという子に対しての学習支援の希望が見受けられた。今後、そういった一つ一つの案件の解消に向けて検討していきたい。いずれにしても、SaSaLANDが子どもたちにとって、安心・安全な居場所であると思ってもらえるよう、子どもたちや保護者の皆様の御意見を十分にお聴きしながら、一緒になって取り組んでまいりたい。SaSaLANDの視察については、教育委員の皆様には2月20日の3月定例会前に行うほか、市議会の子育ち支援調査研究特別委員会、各会派の議員の皆様からの御希望もあるので、今後視察をしていただく予定である。

冒頭でも申し上げたとおり、学校におけるインフルエンザの感染が依然として続いており、小学校8校、中学校1校が学級閉鎖となっている。新型コロナウイルスの感染も徐々に増えてきており、小学校3校、中学校1校で学級閉鎖等の措置が講じられている。特に中学3年生は、これから受験シーズンとなり大事な時期を迎えるので、引き続き学校における感染予防対策を徹底していきたい。

#### <協議事項>

協議1号「教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件に関する意見について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。

藤澤教育次長が説明した。

委員 今まで博物館・文化財・美術などを学校の先生が担う時代が長く続いてきたが、専門の方が出てきたことにより、行政でも雇用されるようになってきた。時代の変化の中でこのように移り変わっていくのは当然である。ただ、学術的分野で専門の教授や勉強されている方とのコンタクトは今までどおり大事にして、地域の文化・文化財の継承についてもつながりが切れないようにして行ってほしい。

藤澤教育次長

今回、市長部局に移管する中で、今までどおり保存や管理はしっかり行った上で、その活用に向けてもう一歩進めていくべく連携していく。おっしゃるとおり、大学、高校、小・中学校の先生方も大変造詣が深い方々がいらっしゃるの、今後も連携しながら、教育委員会としても保存・活用に向けて尽力していきたい。

委員 学芸員の方々の、専門委員としての位置付けと確保も併せてお願いしたい。

協議2号「長野市文化財保存活用地域計画について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。  
石坂文化財課長が説明した。

委員 こういった計画を作成するのは素晴らしいことだが、人口減少により、地域の様々な担い手が少なくなっていることから、全てを活用していくのは難しいだろうと思う。柔軟に対応できるような形を少し残しておけると良いのではないかと思う。

藤澤教育次長

形あるものの保存・保管・修繕、それから神楽のような形のないものなど、継承することは難しいと言われている。保存と活用という中で新たな担い手を探していけるのが一番だが、柔軟な対応をしていきたい。

委員 各学校では、昭和40年代から地域の民具などを多く集めている。それらを今後各学校でどうしていくかも課題となっている。一つ一つとれば全部大事であり、この先どうするか、長野市として残し、継承していくものが何なのか考えていく必要があるが、かつては1年間の季節とともに、家庭や町で習慣としてやっていたが、その習慣がなくなっているから、難しいことではある。

石坂文化財課長

継承が難しいものが継承できなかったということは避けたい。消えていく前に保存することも大事だと思うので、そういったものの記録についても考え、行っていきたい。

委員 新しい文化も生まれている。例えば、恵方巻きは以前はなかった。そういう中から、地域らしさというものが出てくるのだと思う。

<一般行政報告>

報告1号「長野市立長野高等学校入学者選抜における追検査の対象者の拡大について」

丸山教育長が事務局に説明を求めた。  
前島教育次長副任兼学校教育課長が説明した。

- ・1月18日の県教育委員会定例会において、県立高校の後期選抜における追検査の対象者の拡大について報告があったことから、市立高校においても同様に対応するもの
- ・昨年12月19日付けの文部科学省からの事務連絡の中に、これらの内容を含めた適切な受検期間の確保についての通知があったことを踏まえて県が対応したものと考えられる。
- ・周知については、本定例会後、ホームページに掲載する予定

委員 追検査での選抜方法についても、今後よく検討していただきたい。

前島教育次長副任兼学校教育課長

通常と同じ枠の中で選抜すると聞いている。

委員 今までの新型コロナウイルスやインフルエンザによる追試験は、その日の受検を一切していない人が対象であったと思う。今回の対象者拡大には、月経随伴症状等も含まれているが、当日、途中で受検ができない状態となってしまった場合、追試験の対象となるのは残りの教科か、全ての教科か、あるいは、追試験の対象にならないかなど、細かい基準が必要となってくると思われる。事前に詰めた対応を検討しておく必要がある。

前島教育次長副任兼学校教育課長

現時点では、当日の朝に受検できない場合に追試験が可能である。保護者が子ども

もの所在する中学校へ、中学校から高校へ連絡するというルートでの手続となる。  
御指摘いただいた細かな基準については、今後検討していきたい。

<その他>

○教育委員会の主催、共催及び後援事業について（北島総務課長）  
主催事業0件、共催事業0件、後援事業25件（賞状交付0件）

次回以降の日程確認（北島総務課長）

|       |              |              |
|-------|--------------|--------------|
| 3月定例会 | 2月20日（火）午後3時 | 教育委員会室       |
|       |              | 定例会前、管内視察を予定 |
| 4月定例会 | 4月3日（水）午後3時  | 教育委員会室       |

丸山教育長が閉会を宣した。

令和 年 月 日

会議録署名委員

教育長

同職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員